

Arcserve Backup 製品のライセンスキー登録システムご使用方法

もくじ

1. [ライセンスキー登録について](#)
2. [製品のインストール時にライセンスキー登録を行う方法](#)
3. [製品インストール後にライセンスキー登録を行う方法](#)
 - 3-1 [製品を立ち上げてライセンスキー登録を行う方法](#)
 - 3-2 [「CA_LIC」ディレクトリからライセンスキー登録を行う方法](#)
 - 3-3 [ライセンス登録先について](#)
 - 3-4 [Arcserve Backup r17 VM Agent Per Host License の登録先について](#)
4. [ライセンスキー登録済製品の確認](#)
 - 4-1 [CA_LIC ディレクトリの\[ライセンス確認エントリ\(CALicnse.exe\)\]画面で確認する方法](#)
 - 4-2 [ヘルプ – バージョン情報の\[ライセンスの確認\]画面で確認する方法](#)
 - 4-3 [\[ライセンスの確認\]で\[インストールタイプ\]欄が「トライアル\(未登録\)」となっているケース](#)
 - 4-4 [\[ライセンスの確認\]でライセンスキーの\[登録済み\]欄が「いいえ」となっているケース](#)
5. [ライセンスの管理画面について](#)
 - 5-1 [ライセンス管理画面の説明](#)
 - 5-2 [ライセンスの解放について](#)
6. [顧客登録](#)

本ドキュメントの対象製品

Arcserve Backup r17

※スクリーンショット中に旧リリースの表記がございますが、ご利用のバージョンに読み替えて進めていただきますようお願いいたします。

1. ライセンスキー登録について

正規登録製品としてご使用いただくには、ライセンスキーの登録が必要です。

ライセンスキー登録を行わない場合、製品のインストール後 31 日を経過すると動作が停止します。

※本製品のライセンスキーおよびパッケージは、紛失されても再発行できません。大切に保管してください。

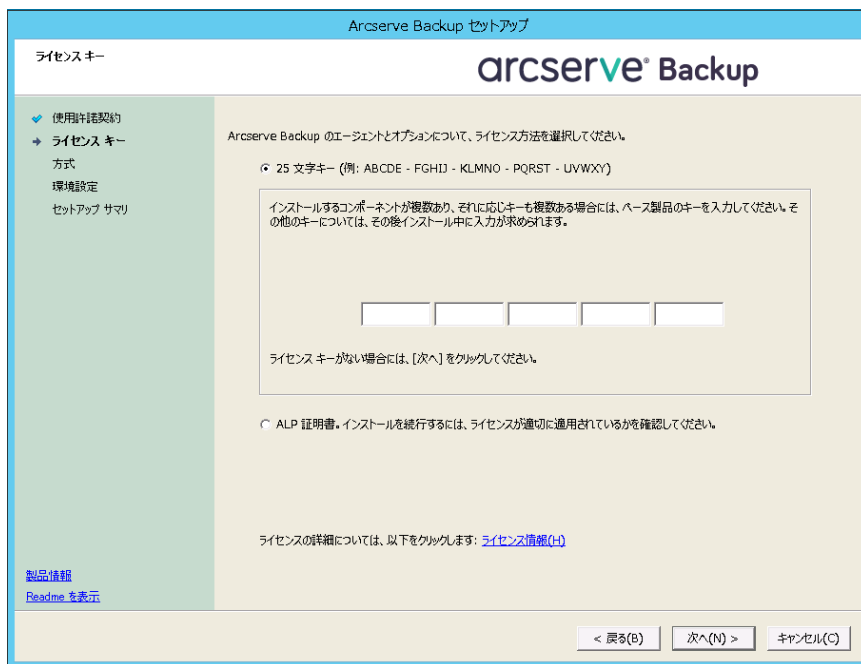
2015/4/1 以降にライセンスプログラムにて発行されたライセンスキーについては仕様変更が行われております。ライセンスキー登録時、「入力済みのライセンス キーは無効です。正しいライセンス キーが入力されていることを確認してください。」という警告が出る場合の解決方法は以下の資料を参照してください。

資料:[ライセンスキー登録時「入力済みのライセンス キーは無効です」となる場合の解決方法](#)

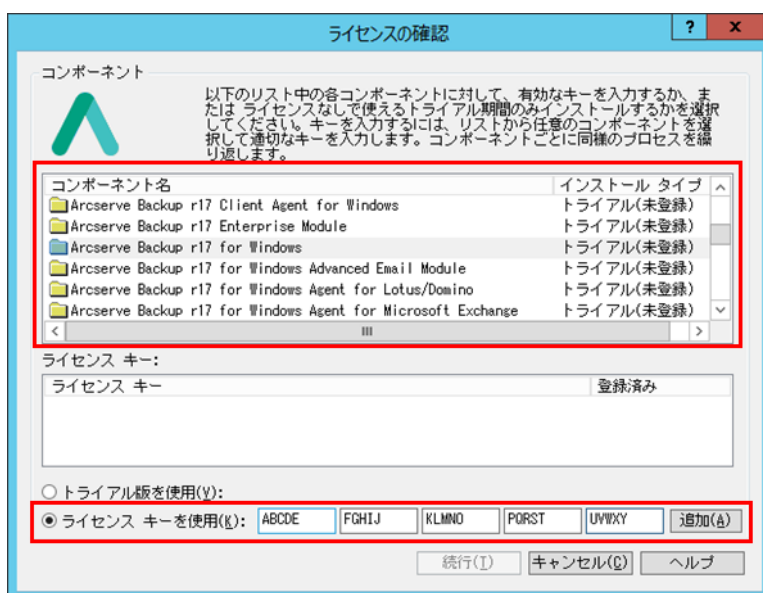
2. 製品のインストール時にライセンスキー登録を行う方法

製品のインストール途中で、[製品のライセンスと登録] が表示されます

- (1) 25 文字キーにチェックを入れ、[次へ]をクリックします。
- (2) [ライセンスキーの入力]画面が表示され、テキストボックス内にライセンスキーを入力します。
 ※空欄のままインストールして頂いても、インストールに問題はありません
 (インストール完了後に、ライセンス登録を行って下さい)



- (3) [次へ] ボタンをクリックします。
- (4) インストールプロセスが進み、[ライセンスの確認]が表示されます。



(5) ライセンスキー登録をするコンポーネント名をクリックします。

※ コンポーネント名が表示されていない製品は、インストール後に以下項目の手順にてライセンスを登録する必要があります。

※ 下位互換製品をご登録の場合、「ライセンスの確認」内のコンポーネント一覧に表示されません。

>> [3-2 「CA LIC」ディレクトリからライセンスキー登録を行う方法](#)

(6) [ライセンスキーを使用] をクリックして、テキストボックス内にライセンスキーを入力します。

※ライセンスキー入力時に、タブキーやバックスペースキーなどを使用すると、ライセンスキー登録が失敗することがありますので、一字ずつ丁寧に入力してください。

(7) [追加] ボタンをクリックします。

(8) 他の製品も登録する場合は、(5)～(7)を繰り返し[続行]ボタンで確定します。

※トライアル版としてご使用の場合は[トライアルを使用]にチェックしたまま、(4)[続行]ボタンをクリックします。

>> [登録済み製品の確認はこちら](#)

トライアル注意事項

本製品のトライアル利用時に、ライセンスキーの入力は不要です。

インストールの際にキーの入力を求められますが、こちらを空欄のまま(キーの入力を行わずに)インストールして頂くことで、自動的に30日間のトライアル版としてインストール、ご利用が可能となります。

トライアル利用中の製品に有効なライセンスキーを入力頂く事で、通常製品版として継続利用が可能です。

※トライアルはインストール後30日間です。同じサーバに対し製品を再インストールされたとしても、仕様上トライアル期間の延長はできかねます。

3. 製品インストール後にライセンスキー登録を行う方法

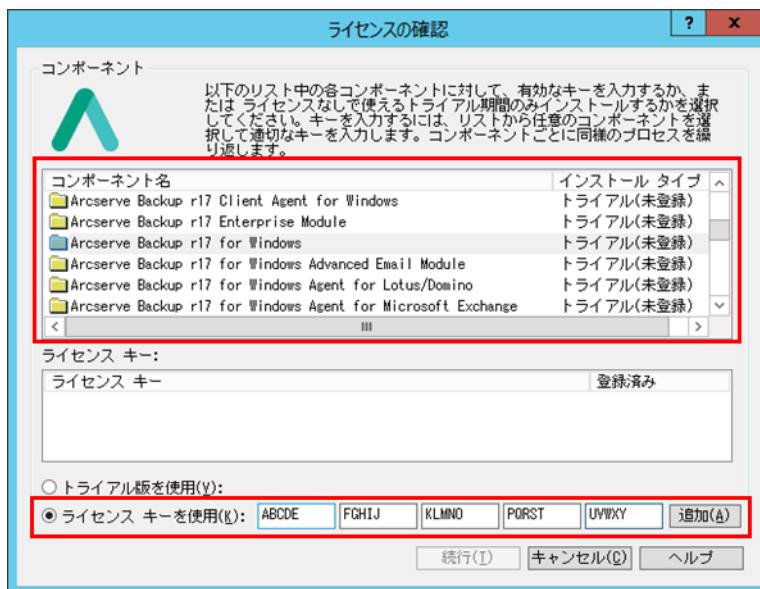
次の 2 つの方法で、ライセンスキーの登録を後から行うことができます。

3-1 製品を立ち上げてライセンスキー登録を行う方法

ライセンスの登録を行う製品を実行し、そのヘルプメニューから[バージョン情報] を選択し、[ライセンスの追加/表示] ボタンをクリックします。



(1) ライセンスキー登録をするコンポーネント名をクリックします。



(2) [ライセンスキーを使用] をクリックして、テキストボックス内にライセンスキーを入力します。

(3) [追加] ボタンをクリックします。他の製品も登録する場合は、(1)～(3)を繰り返してください。

(4) ご使用製品のライセンスキーの入力を終了後「続行」ボタンをクリックします。

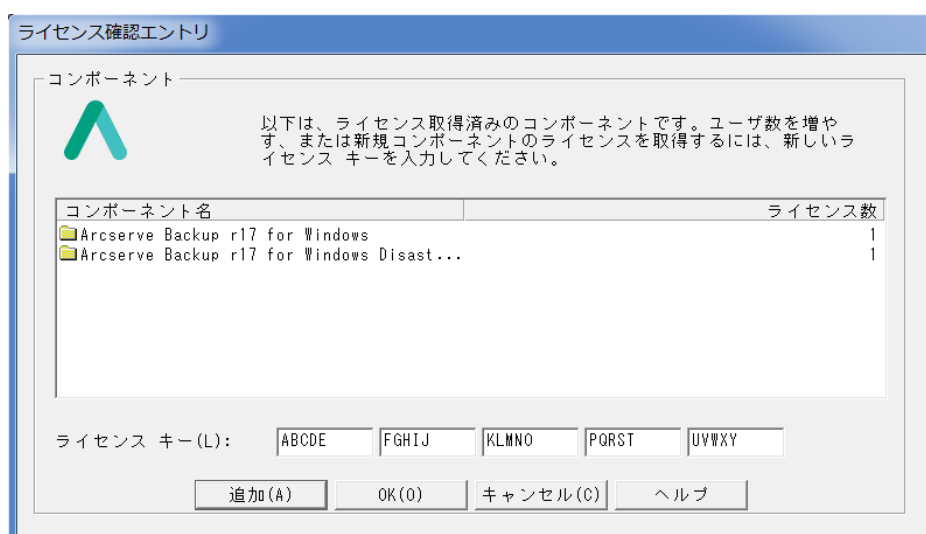
3-2 「CA_LIC ディレクトリ」からライセンスキー登録を行う方法

「CA_LIC ディレクトリ」にあるプログラム「CALicnse.exe」を実行し[ライセンス確認エントリ] 画面からライセンスキーを入力し、[追加]ボタンをクリックします。

※「CA_LIC ディレクトリ」は通常下記のパスに存在します。

64bit 環境の場合、"%SystemDrive%\Program Files (x86)\Arcserve\SharedComponents\CA_LIC"

32bit 環境の場合、"%SystemDrive%\Program Files\Arcserve\SharedComponents\CA_LIC"



3-3 ライセンス登録先について

お持ちのライセンスキーはバックアップサーバにて、全てご登録ください。

※Arcserve Backup r15 からは すべての Agent/Option 製品はバックアップサーバ(Arcserve Backup マネージャが導入されているサーバ)での登録に統一されました。

※r12.5 では Agent for Open Files / Agent for Lotus Domino はバックアップ対象サーバに登録する必要がありました。

旧リリース製品のライセンス登録方法については、以下より該当リリースの登録方法をご参照ください。

< <http://www.arcserve.com/jp/lpg/licensing.aspx> >

3-4 Arcserve Backup r17 VM Agent Per Host License の登録先について

本製品は「ライセンスの確認」内のコンポーネント一覧に表示されません。

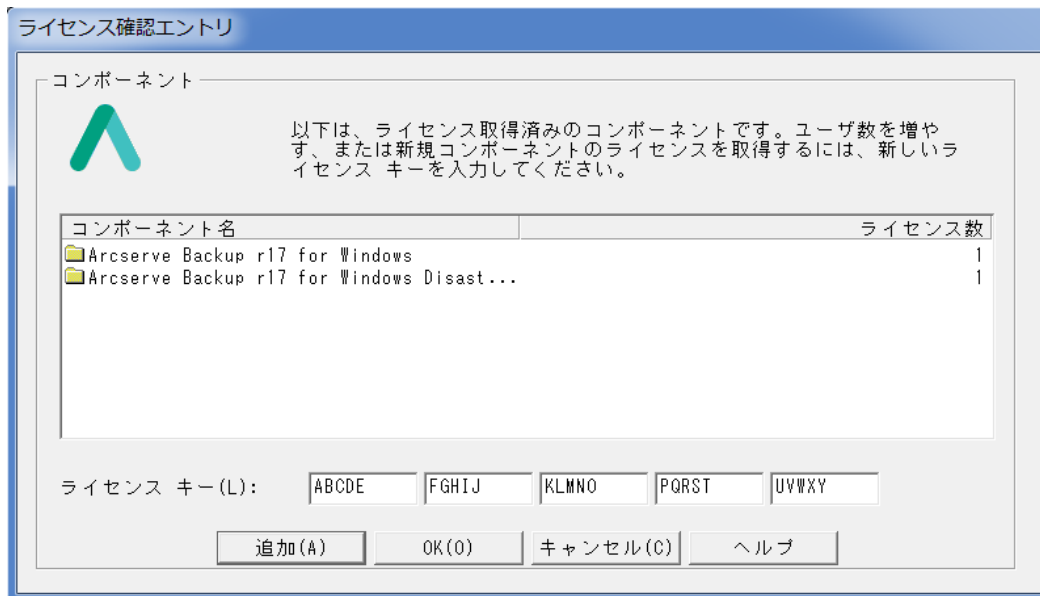
Arcserve Backup r17 Guest Based Virtual Machines Agent Bundle のコンポーネントに対して、ご登録頂くか、[CA_LIC ディレクトリ](#)からの登録を行ってください。

4. ライセンスキー登録済製品の確認

2つの確認方法があります。

4-1 CA_LIC ディレクトリの[ライセンス確認エン트리(CAlicnse.exe)]画面で確認する方法

「CA_LIC ディレクトリ」にあるプログラム「[CAlicnse.exe](#)」を実行し[ライセンス確認エン트리]画面から「登録済みの製品名」と「ライセンス数」を確認することができます。



4-2 ヘルプ - バージョン情報の[ライセンスの確認]画面で確認する方法

- (1) ヘルプメニューから[バージョン情報]を選択します。
- (2) [ライセンスの追加/表示]ボタンをクリックします。
[ライセンスの確認]画面が起動します。



5. ライセンスの管理画面について

5-1 ライセンス管理画面の説明

ヘルプメニューから[バージョン情報] を選択し、[ライセンス管理] ボタンをクリックします。

[ライセンス管理]画面では実際に割り当てられたライセンス状況を確認することができます。



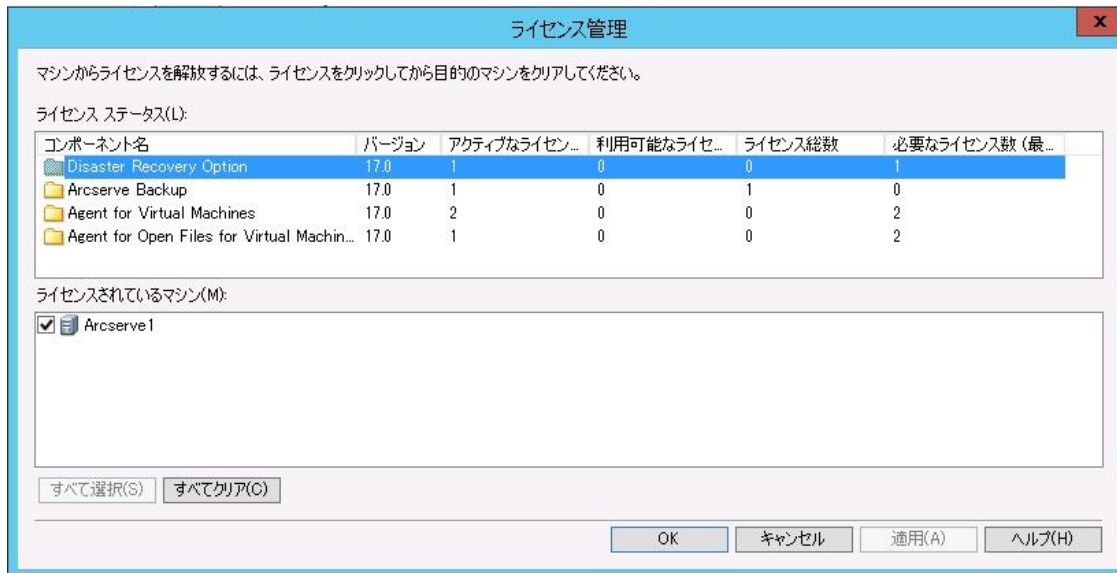
[ライセンス管理]ダイアログ ボックスには、以下の情報が表示されます。

バージョン	コンポーネントのリリースが表示されます。
アクティブなライセンス数	コンポーネント用に現在アクティブな数ライセンス(ライセンスが割り当てられている数)が表示されます。 ※合計には適用済みライセンスとトライアルライセンスが含まれます。
利用可能なライセンス数	コンポーネント用に未割当(利用可能残数)のライセンス数が表示されます。
ライセンス総数	コンポーネント用に有効なライセンス数の合計が表示されます。
必要なライセンス数	コンポーネントを使用するために不足しているライセンスの数が表示されます。 ※トライアルの 30 日間を過ぎるとライセンスエラーとなる可能性があります。

※ライセンス管理画面の詳細は、『Arcserve Backup r17 管理者ガイド』[Arcserve Backup コンポーネント ライセンスの管理](#)をご覧ください。

5-2 ライセンスの解放について

[ライセンス管理]画面の[ライセンスされているマシン]の項目では、選択されたコンポーネントにライセンスが割り当てられている(アクティブとなっている)マシンを確認することができます。



マシン名のチェックボックスを外すと、割り当てが解除され、利用可能なライセンスに戻ります。

※トライアル利用の場合、数値は変わりません。

JOB の実行などライセンス要求が発生したタイミングで、先着順に利用可能なライセンスからアクティブライセンスとして、サーバへライセンスが割り当てられます。

JOB の実行前(ライセンス登録直後)や[すべてクリア]を実行した後は、JOB の実行などライセンス要求が発生するまで、該当コンポーネント名はリストに表示されません。

※ライセンスの解放の詳細は、『Arcserve Backup r17 管理者ガイド』[サーバからのライセンスの解放](#)をご覧ください。

6. 顧客登録

現在 Arcserve では顧客登録を行っておりません。登録は不要となります。

※ 製品のインストールが完了すると、下記の登録画面が表示されますので [今後、このメッセージを表示しない] をチェックし、[続行] をクリックしてください。

※ あとで登録を選んだ場合、指定した日数が経過すると下記の登録画面が再び表示されます。

[今後、このメッセージを表示しない] をチェックし、[続行] をクリックしてください。

